

God With Us

Part 4: The Life and Writings of Solomon

Direction and Drift - Proverbs

Message 10 - Wisdom & Folly: Family

Proverbs 10-31

神は我らと共に

パート4：ソロモンの生涯と執筆

方向とさ迷いー箴言

第十メッセージ知恵と愚かさ： 家族

箴言10-31章

はじめに

家は知恵によって建てられ、悟りによって堅くせられ、・・・
(箴言24:3)

素晴らしい家族を築くことは容易でない。伝統的な「家族」という考えが拒まれる今日の社会において、これまで以上に知恵、労力とコミットメント(言質)を要する。他のテーマと同様、引き続き知恵婦人は、家族の機能に関する原因と結果について知恵婦人の非人間的な原則を示し続ける。

人間に保証を得る公式はない。エデンの園で、神がアダムとエバと「家族」を築こうとされた際も同様であった。神は仰せられた「あなたがわたしの教えに従い、この木の実を食べなければ、あなたは生きる。」知恵婦人(神の知恵とその結果)の明確な警告が提示されていたにもかかわらず、人類は、初めから神の愛と知恵に挑戦し、神とそのみことばを試みる選択をした。それでも、神を信頼し人生と家族を神に委ねる決意を持つ親や子どもたちには、引き続き希望と目的を与えてくださる。

箴言は、家庭内における人／役割の違いについて議論する：夫、妻、父親、母親、子供。家庭が効果的に機能するためには、それぞれがその役割を果たす必要がある。もし、誰か一人でも、知恵婦人に割り当てられている役割を果たさないなら、その家族の生活は問題を抱える激動の道へと転じる。同時に、家族と生活するという事は、果たすべき役割以上に深く絡み合うものである。いろいろな段階を共に経るにつれて築かれていく物語であり、生涯続く旅である。私たちは皆、家族の内に誕生する。家族の中で成長し、いずれ結婚し、夫／妻として新たな家族を築いていく。そして、父／母となり、その子供たちが、また新しい家族を形成する大人へと成長する。最後に、この世における旅を終えて旅立つとき、私たちの傍に集まるのは家族である。家族は、私たちが生活を共にするために欠かせない主要な属性である。俳優のマイケル・ジェイ・フォックス(映画バック・トゥ・ザ・フューチャーの主演俳優)は次のように表現している：「家族はただ重要なものではない、全てである。」

家族の雰囲気

家族には、それぞれの雰囲気がある。家族の価値観がその家族の雰囲気を醸し出す。家族の雰囲気は、家族の一人一人が姿勢を大切にしていれば、効果的である。更に家庭とは、願わくば、子供たちが将来引き継いでほしい人生の理想的価値観を学ぶ最初の環境である。

信仰：

主を恐れることは、知恵のもとである、聖なる者を知ること
は、悟りである。(箴言9:10)

神は、私たちの心と家庭の中心でなければならない。箴言はこのテーマについて力強く訴えている。個人個人が、神に人

生の中心となっただき、相互作用の内に働いていただくことを許さなければならない。子供たちが、神との関係（健全な神に対する恐れ）について最初に学ぶ場所は（教会でも学校でもなく）家庭である。家庭から学び、少年少女は、それぞれが自然に神との日々の個人的な関係を発展していくことを確信するようになる。

あなたの家庭において、神をもっと愛するために何をすればよいでしょうか？ ささやかなことであっても、時間と共に大きく影響する：聖書を読むこと、共に祈ること、神のみことばの光の中で生活の問題点を話し合うこと、困っている人への祝福。あなたの家庭内の霊的温度を一度上げるために、今踏み出すことができる小さな第一歩は何でしょうか？

愛：

友はいずれの時にも愛する、兄弟は悩みの時のために生れる。（箴言 17：17）

自分は真実だという人が多い、しかし、だれが忠信な人に会うであろうか。（箴言 20：6）

家庭は、私たちがこの世の中のどこを探しても見つからない真の、無条件の人間愛と受け入れ表現を見出せる場でなければならない。家庭で、愛されている（属するがゆえ）、受け入れられている、尊ばれている、安全であるといった中核的な信念がしっかりと形成されるべきである。家庭において早期にそのような愛を体験するとき、後々、天の父との関係において同じ考えをより自然に適應することが出来るようになる。あなたが生まれ育った家族の中での経験が、神にある家族における経験、より具体的に、天の父としての神との経験にどのように影響したかについて考えたことがあるでしょうか？神を父として信頼することに奮闘しておられるでしょう

か？神が愛しておられるということを信じることは困難でしょうか？神を喜ばせようとするために、絶え間なく努力しておられるのでしょうか？頻繁に、神があなたのことで落胆しておられると考えることがあるのでしょうか？私たちの多くは、生まれ育った家庭の経験によって、神についての考えが誤って形作られてしまっている。聖霊様（知恵あるカウンセラー）に、神についての歪められた考え方を示していただき、真理に置き換えていただくよう祈ることが重要である。内なる癒しの祈りは驚くべきものである（転換の祈りとも言われる）... 聖霊様は傷ついた心の最も奥底に達し、そこに植えられた嘘を明らかにしてくれる。次に、嘘を取り除き、神の真理に置き換えてくださり、その結果、あなたは、素晴らしい天の父との関係の内に自由に生きることが出来るようになる。

恩恵：

憎しみは、争いを起し、愛はすべてのとがをおおう。（10：12）

こどもたちは、家庭で第一歩を踏み始める。勿論、始めは、何度も転ぶでしょう。でも、恵み深い両親と兄弟姉妹は、完全に歩くことを身に着けるまで、何度でも立ち上がってまた挑戦するように励ますでしょう。同様に、家庭とは恵みに溢れる場であるべきである。失敗の赦しと再度立ち上がり、前を向いて歩き出すための激励を見出すことが出来るべき場である。家族とは、失敗しているときであっても安全な場所であり、失敗から知恵を得て成熟していくことが素晴らしいことであるということを見出せる場所でなければならない。

平安：

少しの物を所有して主を恐れるのは、多くの宝をもって苦勞するのにまさる。野菜を食べて互に愛するのは、肥えた牛を食べて互に憎むのにまさる。（箴言 15：17）

平穩であって、ひとかたまりのかわいいパンのあるのは、争いがあって、食物の豊かな家にまさる。（箴言 17 : 1）

家庭内の平安や愛情関係を犠牲にしたり、過度の努力に苦しんでいない限り、努力することも勤勉に働くことも箴言は重要であると教えている。裕福で、成功し、忙しく、怒りと闘争によって家族関係の生地が裂けるよりも、適度なレベルで生活し、自宅で愛と平和と静かな生活を歩む方がよいと知恵婦人は主張する。

親切：

こちよ言葉は蜂蜜のように、魂に甘く、からだを健やかにする。（箴言 16 : 24）

死と生とは舌に支配される、これを愛する者はその実を食べる。（箴言 18 : 21）

言葉は、人に多大な影響を与えるということについて、箴言は繰り返し語って来ました。家庭は、優しい言葉を受け、また与えることを学ぶべき場所である。社会における舌の手法は、主に家庭の言葉の色調によって決まる。

誇り：

愚かな者はすでに心がないのに、どうして知恵を買おうとして手にその代金を持っているのか。（箴言 17 : 6）

自己中心的な誇りは悪いことと箴言は教えている。しかし、他の家族の一員を誇りに思うことは良いことである。祖父母は、孫たちを誇りと喜びをもって見守る。相互に敬意を持って、子どもと孫は両親と祖父母を尊敬する。

多様性：

先に訴え出る者は正しいように見える、しかしその訴えられた人が来て、それを調べて、事は明らかになる。（18 : 17）

健全な家庭において、それぞれが自分が必ずしもいつも正しいとは限らないということを学ぶ。それぞれの出来事において、幾つもの意見や見解や類がある。（母親は子供たちの間の紛争の仲裁の名人になる！）家庭において、独立していくのではなく、まず、相互に依存しながら生きる方法を学ぶ。私たちは、個人でもあり、地域社会の一員である、他人の意見を尊重することを学ぶ必要がある。

夫と妻

家庭とは、夫と妻の両方がいる場所として箴言は描いておりその夫と妻の関係は、家内において最も重要な関係である。すべては、夫婦関係が健全であるかどうかにかかっている。夫妻関係の特定の側面が強調されている：

感謝：

妻を得る者は、良き物を得る、かつ主から恵みを与えられる。（箴言 18 : 22）

家と富とは先祖からうけつぐもの、賢い妻は主から賜わるものである。（箴言 19 : 14）

賢い妻はその夫の冠である、（箴言 12 : 4a）

だれが賢い妻を見つけることができるか、彼女は宝石よりもすぐれて尊い。その夫の心は彼女を信頼して、収益に欠けることはない。彼女は生きながらえている間、その夫のために良いことをして、悪いことをしない。（箴言 31 : 10-12）

箴言は、父親と息子間の議論の形式を用いていることを思い出しましょう。ここで良い妻を見つけることを強調している野はそれが理由である。もし、これが父親と娘の間の議論であったなら、良い夫を見つけることを強調したはずである。

どちらの場合も、言おうとしていることは、高潔な人格の夫または妻を見つけることは自動的に起こることではない。賢明に、そのような配偶者を探し求めなければならず、また良い性格の配偶者という、まれな贈り物を神に感謝する必要がある。

誠実さ：

あなたは自分の水ためから水を飲み、自分の井戸から、わき出す水を飲むがよい。あなたの泉を、外にまきちらし、水の流れを、ちまたに流してよかろうか。それを自分だけのものとし、他人を共にあずからせてはならない。あなたの泉に祝福を受けさせ、あなたの若い時の妻を楽しめ。

(箴言 5 : 15 - 18)

夫婦間には、互いに制限された合意がなければならぬと箴言は断言している。婚姻関係の外で婚姻関係を結ぶことによって、結婚契約の潔白を侵害するような事があってはならない。婚姻関係を守るために、境界線を引くべきである。勿論、最高の防御は良い攻撃である。夫と妻の間に健全で満足のいく親密な関係(感情的にも肉体的にも)を築き、欲望を満たすために他の場所を見るなど誘惑されないようにしましょう。

コミュニケーション：

争いを好む女と一緒に家におるよりは屋根のすみにおるほうがよい。(箴言 21 : 9)

高ぶりおごる者を「あざける者」となづける、彼は高慢無礼な行いをするものである。(箴言 21 : 24)

柔かい答は憤りをとどめ、激しい言葉は怒りをひきおこす。(箴言 15 : 1)

夫婦間においての、言葉の選択、身体言語などの愛情ある

拘束は、子供(家の中でしっかりと見ている)たちにとって家庭での愛と受け入れのお手本となる。人とどう接するべきであるかを示す模範となる。

箴言の原則：言い争いや喧嘩の環境の中では、人は生きることが出来ない。それらから逃げて隠れることが解決方ではない。むしろ、解決と統一をもたらすことを求める穏やかで解りやすい言葉をもちいて問題に向き合うべきである。

箴言は、結婚については表面程度しかかじっていないので、もっと深く学び、夫婦関係を強めたいと願われる方(または、将来の結婚準備段階の方)は、オークポイント教会の「Loving Well」のコースをお勧めします。過去数年の結果からこのコースは、カップルの結婚の成長と親密さを妨げる深刻な問題を明らかにすることを助けます。

両親

箴言において、両親は「先生」や「トレーナー」として描かれている傍ら、子供たちは「学習者」や両親の傍にいる「弟子」として描かれている。親の言葉や模範を通して、親は子供たちに知恵の道を教える。規律を通して親は子供たちの選択には影響を及ぼすことを学ぶよう励ます。

子供を訓練することが何を意味するのかについての基礎的な理解は、神が子として訓練してくださるところから来ている。神は愛する人を訓練される。

わが子よ、主の懲しめを軽んじてはならない、その戒めをきらってはならない。主は、愛する者を、戒められるからである、あたかも父がその愛する子を戒めるように。

(3 : 11, 12、へブル人への手紙 12 : 5, 6)

同様に、愛する親は、子供の性格が完全に形成されるように子供たちを訓練する。箴言は訓練の重要性について何度も教えている。

望みのあるうちに、自分の子を懲らせ、これを滅ぼす心を起してはならない。（箴言19：18）

あなたの子を懲しめよ、そうすれば彼はあなたを安らかにし、またあなたの心に喜びを与える。（箴言29：17）

善良な人はその口の実によって、幸福を得る、不信実な者の願いは、暴虐である。（箴言13：2）

子育てには、チームワークが重要である。父と母は、頻繁に子供の指導にあたるチームとして、共に触れられている。両親は、まず、子育て計画について共に同意する必要がある。それから、時間をかけて計画の遂行と調整に協力するべきである。

わが子よ、あなたは父の教訓を聞き、母の教を捨ててはならない。それらは、あなたの頭の麗しい冠となり、あなたの首の飾りとなるからである。（箴言1：8，9）

親であれば誰でも心から望むことは、子供たちが学んだことを大人になってからも生活の中で知恵の恩恵を受け続けることである。

子をその行くべき道に従って教えよ、そうすれば年老いても、それを離れることがない。（箴言22：6）

父親

子供らよ、父の教を聞き、悟りを得るために耳を傾けよ。（箴言4：1）

わが子よ、わたしの教を忘れず、わたしの戒めを心にとめよ。そうすれば、これはあなたの日を長くし、命の年を延べ、あなたに平安を増し加える。（箴言3：1，2）

箴言1章から9章は、息子の人生の歩みの中で、父親が息子に教え、忠告し、導びく議論である。父親の主な責任は、家庭での知恵の声となり、模範となり、指示を与えることである。父親は家族単位に指針を与えるという責任の重さを理解しなければならない。

母親

知恵はその家を見て、愚かさは自分の手でそれをこわす。（箴言14：1）

彼女は口を開いて知恵を語る、その舌にはいつくしみの教がある。彼女は家の事をよくかえりみ、怠りのかてを食べることをしない。その子らは立ち上がって彼女を祝し、その夫もまた彼女をほめたたえて言う、「りっぱに事をなし遂げる女は多いけれども、あなたはすべてのにまさっている」と。（箴言31：26－29）

母親は、強い家族を築く上で特に重要な役割を果たす。母親にとって、家庭は子供を育て、子どもを通して自分の人間関係の内に影響を及ぼすための特別なプラットフォームである。母親は、強い家庭を築き、家族を育てる力を認識しなければならない。既婚者の母親は、夫と一緒に息子の共同訓練者として必須、かつ不可欠な役割を担っている。

子供

箴言は、子供を成熟させるための本である。それ自身が親から学ぶ子供たちの優先順位を示している。息子、あるいは娘

は、賢く生きているか、愚かに生きるかによって、大きな喜びや悲しみを両親にもたらす。

ソロモンの箴言。知恵ある子は父を喜ばせ、愚かな子は母の悲しみとなる。（箴言10：1）

知恵ある子は父の教訓をきく、あざける者は、懲しめをきかない。（箴言13：1）

愚かな者は父の教訓を軽んじる、戒めを守る者は賢い者である。（箴言15：5）

あなたの父母を楽しませ、あなたを産んだ母を喜ばせよ。
（箴言23：25）

箴言についての最終的思考：

箴言は原則の本である。知恵婦人は人生の仕組みを教えているが、保証は無い。すべてのルールに例外がある。素晴らしい家族を育もうとするとき、まさにその通りである。すべて正しいことを実行しようとしても、その結果は望み通りにはいかない家族がいる。人生には失望が点在する。一方、間違ったことばかりして来た、混沌とした家から偉大な人物が出現することがある。人生は驚きで一杯である。知恵婦人は人生の真の原則を与えてくれる。それにもかかわらず、人生には、まさに予測不可能な要素がある。つまり：1）人間の本性、そして、2）神の驚くべき恵み。ですから、いつも失敗をも勝利に変えてくださることのできる神の恩恵に傾きつつ、箴言の知恵によって生きるために全力を尽くすのです。知恵婦人がどんな問題（富、仕事、言葉、純潔、家族）に対処しても、常にこれを覚えておくことが重要である：神の驚くべき恵みに覆えない罪はない。